

+から始まる番号の不審な電話に注意！

事 例

【事例1】

「+1～」の番号から電話がかかってきて、「未納料金がある。1番を押して」と自動音声のアナウンスが流れて、言われたとおりに1番を押すと、氏名や生年月日を聞かれた。不審だ。(60歳代)

【事例2】

大手電話会社を名乗る電話があり、「未納料金が30万円ある」と言われた。心当たりがなかったので「書面を送ってほしい」と伝えると電話が切れた。「+1」から始まる番号だった。(70歳代)



アドバイス

- 知らない番号からの電話は不審な電話のおそれがありますので、普段から慎重になりましょう。
- 電話番号の先頭についている「+」以降の数字は、「国コード（国番号）※」と呼ばれるものです。心当たりのない国際電話は詐欺の電話である可能性が高いです。電話に出ない、また折り返しの電話をしないようにしましょう。
※ 国コードの例：1＝アメリカ・カナダ、44＝イギリス、81＝日本
- もし電話に出てしまった場合、個人情報絶対に伝えないでください。自動音声ガイダンスが流れた場合には、最後まで聞かずに電話を切ることも大切です。
- 不安なときは消費生活センター等にご相談ください。

●問い合わせ先

名寄地区広域消費生活センター ☎(01654)2-3575

駅前交流プラザ「よろーな」2階

◆相談時間 9:15～16:00 ◆休日/土・日・祝日・年末年始

